

こんにちは

# 庄内町議会

No.47  
12月議会号  
28.1.20



余目八幡神社  
初詣

- ふるさと納税 順調な伸び ————— 〈補正予算〉 3
- 激論 13人が町政を問う ————— 〈一般質問〉 4
- これから10年後の未来へ ————— 〈第2次総合計画〉 14
- 議員辞職勧告 ————— 〈政治倫理審査会〉 16
- 立川小6年生 真剣な眼ざしで ————— 〈議会傍聴〉 18



## 夢や希望の叶う まちづくりにむけて



議長 富樫 透



新年明けましておめでとうございます。みなさんにおかれましては、大きな希望をもって新たな年を迎えられた事とお慶び申し上げます。

庄内町も合併10年を経過し平成28年度からの新たな総合計画を策定いたしました。重点政策としては、従来からあった「子育て・教育」「健康長寿」「産業活力」に加え「環境共生」「安全・安心」のまちづくりを目標とし日本一住みやすい庄内町を目指しています。

議会としても、少子高齢化や人口減少、福祉の向上や産業振興などの諸課題に対し政策のチェック、提言、提案、立法に関わる立場から真に町民益につながる運営が重要と考えています。


そのためには、議員16人が個々の「議員活動」は勿論、全体の「議会活動」としても町民の皆さんの負託に応えられるように、一層の研さんが必要です。これまでの活性化策の検証や、課題解決にむけた今後の方向性を見定め、夢や希望が叶うまちづくりにつながるよう取り組んでまいります。

より良いまちづくりのために、今まで以上に議会活動にご理解とご協力をお願い申し上げます。

**表紙の説明**

初詣とは  
元々は「年籠り」と言い、家長が祈願のため大晦日の夜から元日の朝にかけて氏神様の社に籠る習慣です。江戸末期には元日だけに簡略化されました。「年籠り」ではなく、単に元日詣だけのいわゆる初詣となったのは明治中期以降です。

年が明けて平成28年元日。余目八幡神社で初詣をしている御家族の写真です。



平成27年を振り返ってみると、前代未聞の出来事が起こった。議員の一般質問中に議会が中断した。

また、発言した議員が質問を辞退するハプニングが起こった。これは議会初のことだ。

平成27年度予算では承認された旧狩川小学校の解体工事が、議会に報告がされないまま事業が一時休止されていた。このことは、別件の報告を受けた際に判明した事で遺憾であった。

明るい話題としては、庄内総合高校生徒と公益文科大の学生議員による高校生・大学生議会が昨年に引き続き開

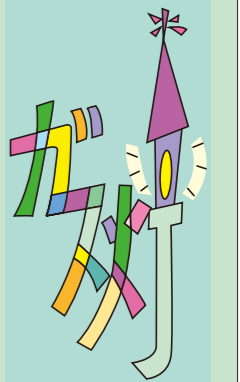
催された。

質問は若者の視点から町政への提言であり、また、世俗にまどわされない真つすぐな視点が生み出された。

今年からは18歳以上に参政権が付与される。私たちも青少年議員の思いも含め具現化し、町民の負託に応えるように、新たな年に臨みたい。

(五十嵐啓二)

発行人  
議長 富樫 透  
議会広報常任委員会  
委員長 五十嵐啓二  
副委員長 齋藤 秀紀  
委員 上野 幸美  
委員 澁谷 勇悦  
委員 鎌田 準一  
委員 國分 浩実



平成27年度  
補正予算

ふるさと応援寄附金

# 3億円突破

## 予想をはるかに超える人気

平成27年度一般会計補正予算は、1億5千290万円を追加するものです。主な追加要因は、年末にかけて、庄内町ふるさと応援寄附金の申し込みは、1億円増額になりました。地域活性化・地域住民生活等緊急支援助交付金の追加3千万円は、月山ジオパーク推進協議会への負担金です。

### 業務委託

業務委託の内容は

業務委託者  
イグゼあまるめ

- ポータルサイト運営
- メール・FAX 受付
- 電話・郵便
- 2人体制
- 情報発信課に事務室

### 記念品

記念品の選定は

平成26、27年度は、庄内町ふるさと応援寄附金記念品企画会議を開催し、記念品を選定しています。

企画会議の構成団体とメンバーは

構成団体

- ・商工会 1人
- ・イグゼあまるめ 3人
- ・新産業創造協議会 1人
- ・庄内たがわ農協 1人
- ・余目町農協 1人
- ・農林課 1人
- ・商工観光課 1人
- ・情報発信課 3人

記念品の上位は

第1位

平成27年産

つや姫無洗米10kg

第2位

庄内産はえぬき

15kgセット

第3位

平成27年産

はえぬき15kg

賛成14反対1で可決



受付もうれしい悲鳴

### ふるさと応援寄附金実績

年度	件数	寄附金額(円)
平成20年度	6	314,416
平成21年度	21	1,242,135
平成22年度	20	1,425,000
平成23年度	98	2,471,564
平成24年度	276	3,036,010
平成25年度	1,562	20,143,000
平成26年度	7,991	120,116,802
平成27年度(11月末)	16,747	241,117,619

平成27年12月21日 寄附納付額3億円突破

# 指定管理者決まる

・響ホール事業推進協議会

・庄内町総合型スポーツクラブ コメっち\*わくわくクラブ

## 議案

12月定例会

会期

12月8日から16日まで

各会計補正予算  
3件

条例制定  
6件

条例設定  
1件

事件案件  
4件

人事案件  
1件

計15件  
すべて原案  
どおり可決

一般質問  
13人

## 響ホール・社会体育施設は、指定管理になります。

問 なぜ、響ホール事業推進協議会なのか

答 庄内町指定管理者制度導入に関するガイドラインの計画に基づき、響ホール事業推進協議会が受託する方向で検討

問 調整が進められ、その結果、平成28年4月から文化創造館響ホールを指定管理者による管理運営とします。

賛成14反対1で可決

問 残り9施設は、どこを指していますか

八幡スポーツ公園	庄内町総合体育館
	庄内町屋内多目的運動場
	庄内町第二屋内多目的運動場
	庄内町サッカー場
	庄内町ソフトボール場
庄内町武道館	庄内町多目的広場
	庄内町余目グラウンド
	庄内町相撲場

問 なぜ、すべての施設ではなく、9施設か

答 庄内町の社会体育施設は20施設あるが、一度には難しいことから、市街地にある9施設を第一段階として決めました。

問 残りの施設はどうなるのか

答 指定管理の期間中5年間の途中においても、状況をふまえ増やしていくことを視野に入れています。

賛成14反対1で可決

## 人事

### 人権擁護委員

平成28年3月31日をもって任期が満了する人権擁護委員5人を任命することに同意しました。

### 委員

- 本町 加藤 容氏 (留任)
- 猿田町 佐藤多賀子氏 (留任)
- 猿田町 菅原恵美子氏 (留任)
- 興屋 加藤 則代氏 (留任)
- 鉢子 吉田 健一氏 (新任)

賛成全員で同意

**問** 商工会の特徴的事業「たべぶら事業」「一店逸品運動」は、地元商工業の発展活性化を狙っており、そのなかでも起業・創業支援、人材育成、また交流人口拡大の側面もある。



國分 浩実 議員

**町長** 「たべぶら事業」「一店逸品事業」は、庄内町商工会の看板事業で成果もあげてきた。それぞれを別々に考えずに、連携や工夫が必要ではないかと思っている。

年間4千万円ほどの経済波及効果もある。価値ある支援と考えるかどうか。

余目、立川の秋まつりで各参加店の出店は誘客に大いに貢献していると思うが、どう認識しているか。

**答** インターネットではさまざまな対応している。その他について今後の検討課題としたい。



がんばる商工会 「一店逸品」全国準グランプリ受賞

# 激論

## 13人が町政を問う 一般質問



第二幼稚園年中組のみなさんが、第二公民館祭のために作成した人形たちです

平成27年12月定例会一般質問は、12月10、11、15日の3日間、13人の議員が29項目について質問しました。質問は、当局に対して行政全般にわたる事務の執行状況、将来にむけての政策指針を問いたたすものです。一般質問は事前通告を行い、60分の範囲内で町と討論します。質問の掲載記事は、質問議員が200字以内で内容を要約し、回答は事務局が会議録をもとに要約したものです。

- 國分浩実議員
  - 庄内町商工会との連携について
  - 町営バスについて
- 小林清悟議員
  - 健康マイレージ事業について
  - 街路灯保守点検委託について
- 押切のり子議員
  - 「世界一品質の高い花づくり」について
  - 情報発信のできる窓口の設置について
- 五十嵐啓一議員
  - ギャラリー温泉「町湯」の運営について
  - 新産業創造館のテナント「やくけつちや」の運営について
  - 再生可能エネルギー基本計画について
- 齋藤秀紀議員
  - マイナンバー制度について
  - 公益財団法人清河八郎記念館運営について
  - TPPの影響について
- 鎌田準一議員
  - 旧国道47号線の整備について
  - イベント開催について
- 吉宮茂議員
  - 酒田地区広域行政組合消防署立川分署の機械設備工事の指名競争入札手続きにかかる総括について
  - 第2次庄内町総合計画の「社会力」について
- 上野幸美議員
  - レストラン「やくけつちや」の夜間休業について
  - 地域を元気にする女性講座「椿ぜみなる」について
  - 地域ボランティアによる学校支援について
- 澁谷勇悦議員
  - 積雪時の交通確保対策について
  - 消防団協力事業所表示制度の運用について
  - ストレスチェック制度について
- 石川武利議員
  - いじめ問題について
- 工藤範子議員
  - 除雪後の除排雪について
  - 平成28年度予算編成方針について
  - 非常勤嘱託職員について
- 小野一晴議員
  - 消防署立川分署の入札について
- 齋藤健一議員
  - 風車市場の道の駅化について
  - 再生可能エネルギー（風力発電設置）導入について

●印の質問内容をくわしく掲載しています。

## 町湯 サービスの見直し図れ

町長 経営努力に期待したい

**問** 町湯が開館して1年が経過した。しかし、経費削減と収益の確保のため早朝営業をやめ、朝9時から営業となった。温泉事業の見直しに誤りはなかったのか。



五十嵐啓一 議員

**町長** 町湯が開館して1年が経過した。しかし、経費削減と収益の確保のため早朝営業をやめ、朝9時から営業となった。温泉事業の見直しに誤りはなかったのか。

**答** 町湯が開館して1年が経過した。しかし、経費削減と収益の確保のため早朝営業をやめ、朝9時から営業となった。温泉事業の見直しに誤りはなかったのか。

**問** 11月の1日平均入浴者は321人で増加傾向にある。今後の経営努力に期待したい。

**答** 今後の利用者拡大のため、入浴料金の見直し、高齢者に配布している入浴割引券の変更は考えられないか。

**町長** また、循環バスの停留所を町湯にしたり、高齢者や体の不自由な方のため、手すり設置など真心のこもった配慮が必要ではないか。



みんな利用してね



高品質は種苗から

**問** 産できないハウスが増加している。これらの状況に対応するためには、多額の費用と時間がかかる。

**答** 庄内たがわ農協からも平成28年度の予算要望も出ている。関係者と連携し、支援すべきではないか。

**問** 今年度から薬剤費の助成を実施している。県や農協等と意見交換をし、新年度から何らかの対策を講じなければと考えている。

**町長** 種苗センターが会社組織に移行したことでの、管理者の技術や知識の向上

**問** ながると思うがどうか。

**町長** 生産者の信頼を失うことのないよう、技術力向上、農協の指導力強化を求めている。課題の解決を整理しながら、町がやるべきことはしっかりとやっていく。

**問** 考えてはどうか。

**答** 若者は、興味がない時は見ない。町では、イベントへの参画を仕掛けていきたい。

**問** 花きの連作障害が発生し、生産者が発生し、生産が困難な問題である。庄内たがわ農協で

**町長** 連作障害の対策は確立されていない難しい問題である。庄内たがわ農協で



押切のり子 議員

## 世界一の花づくり 生産向上に支援図れ 課題解決を整理しやっつく

**問** どのような課題への支援は、「世界一高品質な花づくり」の町に

**町長** をどのように図るのか。これらの課題への支援は、「世界一高品質な花づくり」の町に

**問** 若者、高校生に向けて、情報発信の手法の見直しや窓口設置を

**町長** 若者、高校生に向けて、情報発信の手法の見直しや窓口設置を

## 健康マイレージ事業 いつ実施するのか

町長 来年度6月には実施したい

**問** 県では、今年度、県民の健康長寿を目指し、市町村と連携して、やまがた健康マイレージ事業を実施している。この事業は、取り組むメニューに応じてポイントが加算され、ポイントに合わせて特典などが受けられるもので、県民の主体的な健康づくり



小林 清悟 議員

**町長** 県では、今年度、県民の健康長寿を目指し、市町村と連携して、やまがた健康マイレージ事業を実施している。この事業は、取り組むメニューに応じてポイントが加算され、ポイントに合わせて特典などが受けられるもので、県民の主体的な健康づくり

**問** 本町独自のメニューも必要と思うが、どのような事業内容を考えているのか。

**町長** 現段階での対象事業は、検診、健康教室、食生活改善、介護予防活動、体操教室、各集落のサロン、軽スポーツに関する31

**問** 街路灯保守点検委託が、一町二制度となっている。解消すべきである。

**答** 街路灯保守点検は、旧立川では町が行っている。この契約は、平成30年3月までであり、その後は検討する。



日か教室

マイレージ事業 健康維持のきっかけに

**入札経過 どう総括するのか**  
**町長** 対応は適切だと総括している

**問** 酒田地区広域行政組合消防署の指名入札手続きに係る以下の点についてどう総括するのか。行政行為の公定力の行使について。

**町長** 公定力は、もともと行政が持っている力で、一般的には解除条件付きの確



吉宮 茂 議員

**問** 監査委員は、職務権限に関する自治法第199条第1項第2項に基づく監査をしたのか。

**監査委員** 情報収集は必要と考え、担当課に対し書類の取り扱

**問** 入札執行依頼主である酒田地区広域行政組合に対し、どう説明しているのか。

**町長** この経緯の一部始終を報告し、了承され終わっている。

**問** 《その他の質問》第2次庄内町総合計画の「社会力」はなぜ「社会性」でないのか。また子どものみならず大人の取り組みをどう考えるか。

**答** 「社会性」は社会に適應する力、「社会力」は社会を向上させる力。大人の社会力向上は、子ども達と関わりを持つなかで培ってきたい。

**町長** 旧国道47号線の歩道改良は、段差の解消や幅員の確保を毎年県に要望している。地元関係者の方々が主体的に改良の考え方をまとめることが重要なポイントとされている。道路一つで町が魅力



消防署立川分署 着々と建設中



歩きにくい ついつい車道へ

**問** 旧国道47号線の町内歩道整備には、住民の合意形成を重要としているが解決の手がかりになっていない。現状は歩きにくい危険な場所がある。この問題は、商店会だけでなく一般住民も含め議論すべきである。例えば、対症的法的であっても歩道を区画別



鎌田 準一 議員

**問** 旧国道47号線の町内歩道整備

**町長** 旧国道47号線に対応した計画を立て県に理解を求めめるなど現実的な新たな視点の解決策はないのか。

**旧国道47号線 解決策はないのか**  
**町長** 問題を把握し県に要望しよう

的になることはない。道路整備には、どういうまちづくりをするか地域の方々が一つにな

**問** 2回開催の「秋まつり」の一本化はどうか。

**答** 合併10年となり、

って考えることが大きな推進力となる。

**問** 《その他の質問》イベント開催について「夏宵まつり」を8月12日にする訳はないか。

**答** 町内祭り、酒田・鶴岡の花火大会と重ならない設定とした。

一本化を考えた。1日の9月15日開催をどう考えるのか。

**答** 9月15日開催は、神事優先で考えている。

**マイナンバー制度 周知・対策を徹底せよ**  
**町長** これからの課題と考える

**問** 平成28年1月から、マイナンバー制度が始まるが、その内容が町民に伝わり、安全に管理されるか心配である。子供の通知カードは保護者が管理し、※個人番号カードにあえて変える必要があるのか。15歳未満でも個人番号が必要



齋藤 秀紀 議員

**問** 事業所に子供の番号を提供する義務があるが、転職のたびに情報提供することは、漏洩を危惧する。提供なしでいいのではないか。

**町長** 雇用主は、従業員との源泉徴収関係で申告する際に個人番号が必要となる。税務当局では、無記載でも個人番号を特定できるの、そのまま受け付ける。

**問** 清河八郎記念館の運営支援を、町はどう考えているのか。

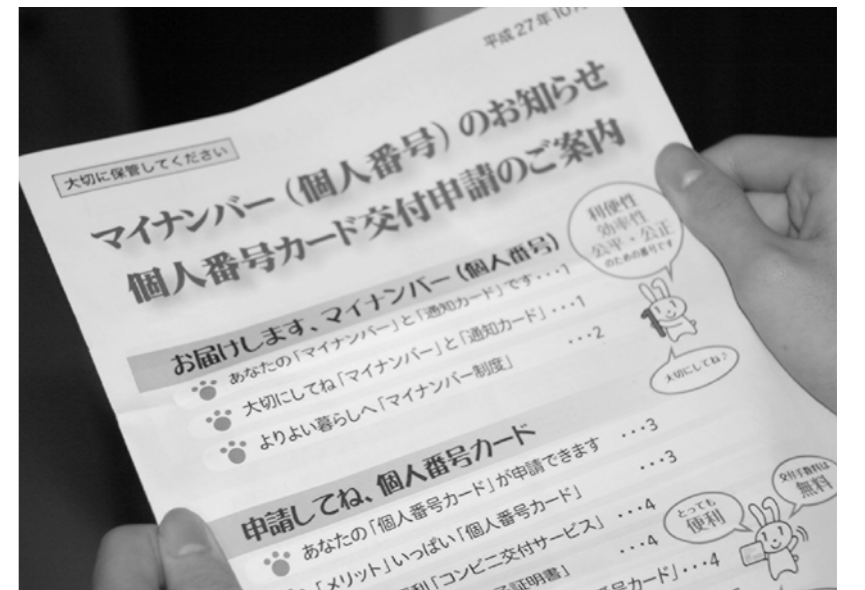
**答** 町は社会教育の面で考えている。

**問** TPPの影響をどう考えているのか。

**答** 輸出等攻めの戦略が重要である。

**問** 高齢者や認知症の方は、管理能力が低く、かなり危険が伴っている。今後の対策が必要であるかどうか。

**町長** 一人暮らしの高齢者夫婦世帯などは、対応を検討しなければならぬ。



情報漏洩 大丈夫

※個人番号カード 12ケタの番号で社会保障、税、災害対策の分野などの手続きの際、提示が求められるカード。

**いじめ対策** どう考えているのか

**教育長** いじめ防止対策条例制定を進めている

**問** 近年、全国ではいじめにより命を絶つという取り返しのない事態が多発している。山形県においては国策定の「いじめ防止対策推進法」および「いじめ防止基本方針」を踏まえ、いじめ根絶に向けての実効あるいじめ防止対策を進めている。本町に



石川 武利 議員

**教育長** 本計画に、他の命を尊重し、相手への思いやる心の育成を強化しようとしている。道徳教育やボランティア活動、さまざまな人との交流を充実させて共生の心を育む。日常のトラブルを学びの機会とし、相手との関わり方を丁寧に指導している。また、いじめ防

止対策の推進に関する条例制定の準備を進めている。誰も被害者にも加害者にもなる可能性がある。町をあげていじめに對する意識を高め、深刻化を防ぐために、家庭、学校、地域、行政の連携が不可欠だと考えている。



実効ある対策を



安心、安全な雪道走行のために

**町長** 要望にはできるだけだけ応えていく。口の除雪のほか、商工会からの「空家前歩道除雪」など、これまでの町民要望等や除雪業者の意見などは、今冬の除雪体制にどのよう

**問** 積雪時、行き止まりとなる集落の場合、住民の不安解消のためには二方向からの通行確保が必須であり、実現までは相当の年数を要する。それまでの間、幅出し除雪を徹底し、すれ違い

**問** 消防団協力事業所表示制度実施要綱は、「事業所の協力」だが上から目線でないのか。  
**答** 消防庁実施要綱に沿っている。町独自の

**問** どう考えているのか。  
**答** 平成28年度から実施する予定である。

**問** 吹きだまり、路面の凹凸、門



澁谷 勇悦 議員

きたいが、今後厳しくなる財政状況のなかで、いかにサービスを低下をさせないかを考

**町長** のできる幅員を確保すべきでないか。冬期間になると行き止まりに

表現は使っていない。  
**問** 労働安全衛生法の一部改正によるストレスチェック制度導入を

**やくけっ ちやーの** 夜間休業でいいのか

**町長** 経営形態の変化はある

**町長** 「やくけっちやー」は、奥田シエフの監修で昨年開店したが、今年9月から昼食営業のみになっている。現状をどう考えているのか。昼食客増加は、既存の店への影響もある。奥田シエフ監修とはなにか。経営者はイグゼアまるめであ



上野 幸美 議員

**町長** この施設事業の経緯を考えても、町民はこの事態をとても心配している。夜間休業する前に、やるべき営業努力はなかったのか。施設事業の本来の目的を再認識し町はもっと一緒に取り組むべきではないか。経営状況が変れば経営者は

**問** 「女性議会」を開催してはどうか。  
**答** 女性の声を聴く機会としては、やぶさかでない。  
**問** 地域ボランティアへの謝礼等は変わったのか。  
**答** 要望に対応しこれまでどおりである。

り、経営形態の変化はあり得る。団体の予約があれば夜間の営業もしている。開店前は奥田シエフからアドバイスを頂いた。現在もシエフの確保やメニューの相談をしていると聞いている。

それに対応しなければならぬ。全体のなかで昼食に特化する考え方もあるのではないかと。夜の時間、場所を利用し、新しい食の仕方を町で組むことも十分に可能だと思



本来の目的 どうしたの

## 道の駅 売上げ拡大の対策は何か

町長 魅力ある品揃えにしたい

**問** 風車市場の道の駅は、衰退する立川地域の交流人口拡大や、産業振興・生活の利便性など活性化への拠点として期待されている。次の課題はどうか。

**答** 誘客増加には直売品の拡大が不可欠である。年間売上が目標5千万円への対策はなにか。



齋藤 健一 議員

**問** 農産物の販売にも力を入れていく。南三陸町の海産物も積極的に扱い、他の道の駅や産直施設と連携し、魅力ある品揃えにしたい。

**町長** 農村レストラの売上目標2千300万円への対策はなにか。

**町長** 農村レストラは、地元の主婦たちが作る地場農産物を利用した、郷土色あふれる料理を中心に考えている。

**問** 国交省道の駅登録と平成28年秋のオープンが可能か。

**町長** 会員の増強や米の販売にも力を入れていく。南三陸町の海産物も積極的に扱い、他の道の駅や産直施設と連携し、魅力ある品揃えにしたい。

**問** 農村レストラの売上目標2千300万円への対策はなにか。

**町長** 農村レストラは、地元の主婦たちが作る地場農産物を利用した、郷土色あふれる料理を中心に考えている。

**問** 道の駅の名前はなにか。

**町長** 名称は「道の駅 駅しようない」としたい。

**問** 風力発電設置導入の現状と町の対応はどうか。

**答** 3社から参加要望がある。風車村は1社が調査検討している。基本計画に沿って進めていく。

**町長** 平成28年4月の登録に間に合わせ、平成28年秋にはオープンしたいと考えている。

**問** 道の駅の名前はなにか。

**町長** 名称は「道の駅 駅しようない」としたい。



道の駅が具体化 最終段階へ



入札業者びっくり 問題なかったの

つた落札価格を撤回した根拠として「本町の入札要綱では結果の公表は入札翌日なので、当日であればできる」と説明しているが、要綱を見ると入札当日の公表となっている。撤回はできないがどうか。

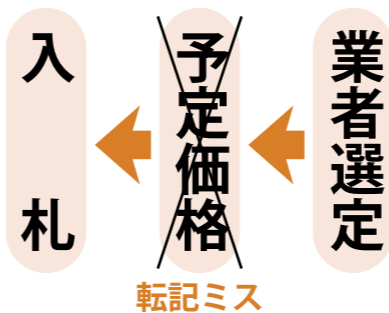
いない。

撤回・取り消しは、行政裁量の一つの形という事で整理している。間違ったことを謝罪し、入札者全員の同意を得たことにより瑕疵は治癒したと考えられるので、特に問題はない。

**町長** 文書事務取扱規程には入札経過等の文書の明確な基準はない。

あれば、その経緯を記録として残す必要があるはず。廃棄するのは「入札契約適正化法」に反する。今後のために精査すべきだ。

れに必要な資料のみを整えておけば良いと確認をしている。



**問** 消防署立川分署の入札で、誤



小野 一晴 議員

**町長** 今回の一連の手続は、行政裁量で対応したことであり、結果には影響して

**問** 撤回した後、その入札調書等を破棄しているが、正しい行政行為で

法律の専門家からは、入札のやり直しや不落地の手続が正当に推移したとすれば、そ

## 除排雪 対応万全にせよ

町長 より丁寧な除雪を心がけている

**問** 雪国に住む者にとって、除排雪は悩みである。特に除雪後の排雪は高齢者にとって大変である。町の平成26年度の老人夫婦世帯は616世帯、障がい者手帳所持者1千144人、また、要支援1から要介護5までの方は、1千450人となっている。介護保険制度



工藤 範子 議員

改定により、要介護1、2の方は、施設入所から外された。秋田市は道路除雪後の間口に残った雪のかたまりを寄せている。高齢者社会に対応して、本町も検討してはどうか。

**町長** 降雪期前に全区・地区で、行政区長と担当する除雪業者で除雪に対する話し合いをしており、より丁寧な除雪に心がけている。

高齢等の理由で家の前の除雪が難しい場合は、周辺の住民の方々に協力をお願いしている。高齢化社会に対応する除雪のあり方は、

課題として受け止め、検討していく必要がある。

《その他の質問》

**問** 平成28年度予算編成方針の重要施策は何か。内容をどう議論したのか。

**答** アイデアを出し合い各課で検討している。

**問** 今後の非常勤嘱託職員の待遇はどうか。

**答** 嘱託職員制度の現行規定は平成28年度をもって廃止し、平成29年度から新制度規定で行う。



地域の助け合いがなにより大事

入札執行 ルールを守れ

町長 行政裁量で対応した点である

# より良い町づくりのために

## 先進地事例を調査します



- **みやき町** 人口 約2万5千人  
返礼品の業者全面委託について  
ふるさと納税寄付金25倍増
- **上峰町** 人口 約9千人  
PVランキング（ネット経由納税申し込み数）  
約20万件突破で全国3位  
ふるさと納税寄付金500倍増
- **総務省市町村税課**  
全国の「ふるさと納税」の現状・用途について

**テーマ** ● ふるさと納税について  
視察先 ● 佐賀県 みやき町・上峰町  
東京都 総務省市町村税課  
日程 ● 平成28年1月12日～14日

### 総務文教厚生常任委員会



- **境港市** 人口 約3万5千人  
滞在型交流人口拡大のため、市が企業誘致  
条例を活用し、ホテルを誘致。
- **雲南市** 人口 約4万人  
道の駅おろちの里  
農家レストラン「ふる里亭」
- **邑南町** 人口 約1万4千人  
道の駅 瑞穂（みずほ）  
年間売上3億円は産直で県内1位  
里山イタリアン Ajikura  
NHKで放映され全国的に注目

**テーマ** ● 交流人口の拡大について  
視察先 ● 鳥取県 境港市  
島根県 雲南市・邑南町  
日程 ● 平成28年1月18日～20日

### 産業建設常任委員会



要約をプロジェクターで

**要約筆記**  
「ばんけの会」の協力で  
本町議会の特徴である要約筆記を、12月11日実施しました。  
当日は、栄寿大学の皆さん、社会福祉関連の皆さん、一般の方が傍聴に来てくれました。議員の質問や町長の答弁内容が、簡潔にわかりやすく大型スクリーンに映し出され、大変好評でした。

● **要約筆記ばんけの会**  
菊池みつ子（代表）  
菅原 千佳  
佐藤 薫  
阿部 恵理  
齋藤志保子

● **要約筆記やまびこの会**  
柿崎 明子（代表）

## 第2次

# 総合計画 決まる

## 庄内町みんなの未来計画（平成28年度～平成37年度）

### 基本構想・基本計画審査特別委員会

9月定例会に提案された第2次庄内町総合計画の「基本構想」「基本計画」は特別委員会を設置し、分科会の議論を経て、12月定例会で16項目の意見を付し可決した。

基本構想 賛成14 反対1 で可決  
基本計画 賛成14 反対1 で可決



委員長 小林 清 悟  
副委員長 齋 藤 秀 紀

# 将来を見据えて意見を付す

**分科会で聞き取り調査**  
2つの分科会で、各課より聞き取り調査を実施した。  
それを受けて町は58カ所を訂正し、議会はそれを許可した。

**総合計画に対する意見の集約**  
総合計画の基本となる大きな6つのテーマごとに、分科会で総括審議をし16項目の意見を付した。

**主な意見とそれに至るまでの経過（抜粋）**  
ともに学びあう 教育のまち

**意見**  
学校と家庭、地域が一体となり、いじめ防止対策に力を入れるべきである。  
なぜ、このような意見になったのか  
今回の総合計画には、いじめの文言がなくな



君たちが未来の主役だ 平成27年度 成人式

っている。命の尊さを重くみることに、いじめ問題は解決することとしているが、議会としてはあえていじめ防止の文言を入れ、その対策に力を入れるべきとした。

**美しく安全・安心な生活環境のまち**

**意見**  
総合的な空家対策については、民間の活力

を導入すべきである。なぜ、このような意見になったのか  
危険な状態で放置されている空家が問題となっている。中心市街地には空家を解体し、更地にして活用できるところもある。行政の空家問題の対応には限界があるため、不動産業者等の民間の協力を得て対策すべきとした。



# 工藤範子議員に辞職勧告

## 政治倫理審査会の判断

### 政治倫理条例に

### 抵触するまでの経過

- ▼6月5日 **消防署立川分署 入札を実施**  
この入札で機械設備工事の入札が予定価格を上回り不落到の終わった。
- ▼6月30日 **町に説明求める**  
この入札行為に疑問をもった工藤議員は、副町長から経過の説明を受けた。
- ▼7月6日 **文書で申し入れる**  
工藤議員は説明を受けた結果、町長に一連の経過を明らかにするよう文書で申し入れた。
- ▼7月8日 **文書で回答**  
町は6項目の質問について、文書で回答した。
- ▼7月31日 **マスコミに情報提供**  
工藤議員は入札経過をマスコミに文書で提供した。この文書は、町からの一連の経過に加え、私見を交えた「業者に結論を押し付けた」「町長は予定価格を改ざんしたと推測される」とした内容であった。
- ▼8月27日 **町に事実と違う文書を提出**  
町はマスコミに提供した文書の開示を求めた。これに対して工藤議員は事実と違うものを提出した。
- ▼9月4日 **審査請求出される**  
3人の議員から工藤議員に対し、庄内町議会議員政治倫理条例に基づく審査請求が出された。
- ▼9月8・15・18・30日 **4回の審査会を開催**  
**審査会の結果**  
(1)事実を明確にする機会があったにもかかわらず、事実確認をしないまま、私見を交えた内容を文書で情報提供した。  
(2)町から各マスコミへ情報提供した文書の開示の求めに対し、事実と違うものを示した。  
(3)一議員の行為とはいえ、議会に対する町民の信頼を損なうものである。
- ▼9月16日 **辞職勧告を決定**  
議会運営委員会は、審査会の報告を受け、工藤議員の辞職勧告を決定した。
- ▼10月19日 **辞職勧告する**  
議会運営委員会の報告を受け、議長は工藤議員に辞職勧告を通告した。工藤議員は辞職勧告に応じず拒否した。
- ▼10月15日 **全員協議会で辞職勧告に従わない理由を質す**  
辞職勧告を受けた後に、所属政党機関紙により議会批判を行ったこと、勧告に従わない理由について説明を求めた。これに対し工藤議員は、所属する政党の活動であり、議員個人の意思では決められないと回答した。

## 消防署立川分署

# 機械設備工事入札

## 町は不正なしと答弁 専門家に確認済み

### 事務執行を適正とする町の見解

**事業内容と事業主体**  
消防署立川分署改築移転工事は、酒田地区広域行政組合が、本体工事も含め設計を行い町はその入札のみ委託を受けて実施した。

#### 行政行為の公定力

##### および撤回取消

今回の事案は担当部署の転記誤りによって予定参考価格を誤って記載したため発生した事案である。

町はこうした事態判明を受け、その後の対応を検討した結果、同日中に当該行政行為の撤回を実施し、入札不落的処分を撤回するとともに、同日行われた1回目の入札結果に基

づき、その応札価格が予定価格に達していたため落札の決定を行った。なお、このような対応をした場合、いまだ契約はなされていないため、民法上の法律関係は確定しておらず問題は生じないと判断した。

#### 再入札は不必要と判断

本町の入札に関する諸規定において、再入札に関する記載や具体的な定めはなく、不落成となった入札については、その都度どのような対応にするか判断している。

通常、積算価格等に問題がなく価格が折り

合わない場合は、入札指名業者を入れ替えて再入札を実施するか、一部設計変更を行い新たな入札として執行している。

今回の入札不落的原因は、担当部署の転記誤りによって発生したことで、通常不落成時に採る入札業者の入れ替えによる再入札は、応札参加業者の理解を得られないものと判断した。

### 工藤範子議員の審査結果に対する弁明書（抜粋）

## 政治倫理条例に抵触していない

消防署立川分署機械設備工事の入札に関して、「業者に結論を押し付けた」「町長が予定価格を改ざんしたと推察される」と書いた文書を報道機関に提供したことに対して、庄内町議会議員政治倫理条例第3条第1号「議員の品位若しくは名誉を損なう行為又は議会に対する町民の信頼を損なう行為をしてはならない」とする規定に抵触すると通知があった。

一連の入札行為において、町は不落成を宣言したのち予定価格が間違っていることが判明した。本来ならば入札をやり直すべきであったが、予定価格を書き換えて落札業者を決定した。この入札は無効であり、撤回すべきである。

問題を指摘した私が、政治倫理条例に抵触することはありません。

# 真剣、緊張、驚 子どもたちの議会傍聴

# き... 体験談

12月議会の傍聴者は72人でした。  
12月10日には立川小学校6年生37人が社会科(暮らしと政治)の授業の一環として傍聴しました。初めて経験する議会のやり取りに難しいと感じながらも、一生懸命にメモを取る姿には頼もしさや未来への希望を感じました。  
今回、お礼の言葉を添えた感想文が届きましたので概略を紹介します。



あ！マイクが光った 提供：みしまフォトスタジオ

・しゃべりはじめるとマイクが赤く光った。  
・大きなテレビのようなものが二台あって経過時間が映っていた。

## 器材にびっくり

・議長さんや議員さんがときどき、はつきり意見を言っていることにビックリした。



議会ってすごいな 提供：みしまフォトスタジオ

・真剣に意見を言っている。ほかの人の話をまじめに聞いている。ぼくも見習いたい。  
・毎回、長時間話し合っただけで切れないのはさすがだ。

## 真剣です！

代表で出ている人はすごい。  
・色んな質問に町長さんは「しっかり」「すらすら」と答えていてすごい。学校での話し合いに生かしたい。  
・ぼくは聞くのが苦手だが、議長さんはしっかり聞いていてすごい。



## 立川小学校6年生のみなさん 感想文ありがとうございました

- 阿部 叶登
- 池田 楓子
- 池田 美結
- 石塚 朱里
- 伊藤 梨紗
- 太田 拓夢
- 小野 颯太
- 加藤 隼人
- 門脇 怜美
- 叶野 珠羅
- 上林 春翔
- 工藤 大夢
- 久保田 亮太
- 黒沼 美空
- 笹本 彩加
- 齋藤 優衣
- 齋藤 碧海
- 齋藤 将輝
- 佐藤 愛佳
- 佐藤 悠汰
- 佐藤 莉央
- 佐藤 真悠
- 志田 理央
- 杉山 翔和
- 清野 彩華
- 相馬 彩華
- 高橋 明日香
- 高橋 彬
- 武田 夏輝
- 仲川 想菜
- 中條 知美
- 成澤 海羽
- 野尻 美奈
- 日向 陽菜
- 松浦 康輔
- 村井 康輔

(50音順・齋と「齋」は原文どおり記載) (敬称略)

## 言葉が難しい

・聞いたことのない言葉がいっぱいで、ついていくのが精一杯でした。  
・想像していたより難しかったです。  
・難しい言葉で頭が爆発しそうになった。

## 席が面白い

・町長さんや議員さんがどこに座っているのかわかって面白かった。  
・町長さんが一回目は真ん中に出てきて、二回目からは自分の席で話しているのが面白かった。

## 議場の空気に緊張

・席に座ったとき、すごく緊張しました。  
・みんな真剣でとても緊張しました。

## わかった

・町内に街路灯が253個もある。  
・普段、何げなく使った、見たりしている物も、町でちゃんと管理している。  
・議会の様子がネットで見ることもできる。  
・大きいことを町長さんが、細かいことを課長さんなどが答えることも初めて知った。

定例会は毎年4回(3月・6月・9月・12月)開催されます。議場での議員と町のやりとりは、インターネット中継より緊張感あります。町政への参加の一環として、また、小中学校の学習の活用にも、傍聴にお出で下さい。